

<b>議題</b>	<b>第3回運営推進会議</b>
<b>日時</b>	2019年8月29日(木) 14:00~15:00
<b>場所</b>	デイサービス山風木
<b>出席者</b>	(順不同敬称略) 三島地区地域包括支援センター Y様 デイサービス山風木利用者様ご家族 Y様、M様(A様)、M様 デイサービス山風木センター長 渡部浩考 デイサービス山風木総括 渡部美保子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
<b>会議の詳細</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について～</li>   <li>● デイサービス山風木の運営状況 (センター長 渡部浩考) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用状況の報告 →定員12名一杯がほぼ見えています。 →フル稼働を前提とした体制と運営管理に完全移行しています。</li> <li>・スタッフ体制、資格等育成に関して。 →関係事業所とあわせて25名おりますので協力して運営しています。 →認知症の勉強を途切れなく行うようにスタッフと一緒に頑張っています</li> </ul> </li>   <li>● 地域の力の気づき (センター長 渡部浩考) <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス事業所をフルに活用しても24時間365日のフォローは現実的ではない。 ちょっと出てしまったときのご近所さんの目、1人で買い物に行ったときのコンビニ店員の心配り。そんな地域・事業者の努力が社会を支えています。</li> </ul> </li>   <li>● デイサービス山風木の活動 (総括マネージャー 渡部) <ul style="list-style-type: none"> <li>・半期の行事の確認。(季節感ある活動+庭掃除などの日常)</li> <li>・各種行事や季節活動 →活動の写真をプロジェクターにて投影</li> </ul> </li>   <li>● 身近なはずの認知症 日本は認知症大国です。世界でも認知症の人数は最も多くなっています。(センター長) →身近なはずの認知症について、理解を深めて地域での支え合いにつなげていく →銀行・スーパーの店員さんも認知症の研修を受けているそうです。</li> </ul>	

地域ケア会議の存在について(総括 渡部)

→地域性もありますが、認知症等で困っている方が地域に存在しています。その存在を知り、困っている内容を知り、地域の小さな支援の積み重ねにしていくことが出来な  
いか。という議論が地域包括支援センター主催で都度開催されています。

ご近所さん、サービス事業所、警察など、様々な関係者が参加して情報共有がされます。

● ご意見

▼三島包括 Y様

住み慣れた地域で暮らしていくためにも、地域に応じた、地域の方たちの知恵も出しあい  
ながら、地域社会を作り上げていくキッカケの会議が地域ケア会議です。

地域(町内)全体を巻き込んだ困りごとなどが、町内会長さんから直接持ち込まれて、「地域  
ケア会議を開催してくれ」と言われることもあります。(笑)

▼利用者様家族 M様

私は隣近所の方に主人が認知症であることを伝えてある。最近様子を変だねと教えてくれ  
たのも近所の方だったのです。同じ町内でも、認知症の方がいてお互い様だよと言ってく  
れています。

→総括 渡部

元々の地域(隣近所)の繋がりがあって関係性も良かったのですね。

▼利用者様家族 Y様

私の主人は、集会所にゴミを出しに行ったが分からなくなってしまったり、通い慣れた病  
院に行っても薬をもらってこなかったり、買い物をしても常にお札を出すので財布がおつ  
りで一杯になってしまっていたりということで何かおかしい。ということで受診しました。  
過去の脳梗塞の影響もあるかもしれない。とのことで、ご近所さんにも少し話をして理解を  
してもらいました。

→総括 渡部

お二人ともご近所さんへ情報を発信して大事な基盤造りがうまくできたのですね。素晴らしい  
と思います。また、認知症初期の段階での家族対応も立派だったとおもいます。初期の頃  
は「認知症の疑い」「物忘れへの注意・叱責」が本人さんの反発となって受診やサービス利  
用が遅れることがあります。その辺を上手に乗り越えたのはすごいですね。

→ご家族 M様

本人は、年をとったから物忘れはしかたないよ。という感じだったのですが、早い段階で  
脳神経外科を受診したのが良かったと感じています。

▼利用者様家族 M(A)様

→総括 渡部

デイサービス山風木は、男性の利用者様も半分弱ぐらいおり、男性の居場所として M 様や Y 様にうまくハマったような感じもあります。一方で M 様は几帳面な性格もあって、サービスの利用に様々なご苦勞もあったと思います。

→ご家族 M(A)様

母は 94 歳です。鎌倉には 96 歳の伯父も施設にいて月に 2 回ほど訪問しています。月 2 回ぐらいでは何もしてあげられない。と思っていますが、一方で母のことも心配です。母は 2 年半ぐらい前から認知症の症状が目立ち始めて、この 1 年ぐらいは症状が進んだかなと感じています。

→総括 渡部

女性の方にはキッチンとしなければという外の顔をもっている方が多いです。至極当たり前の感覚だと思います。それだけに、デイサービスに来て楽しく充実した時間を過ごすだけでは解決しない心の側面があると思います。

→ご家族 M(A)様

母も最初は通うことを少し嫌がりました。でも、スタッフの方が様々なアプローチで関わってくれたおかげで今に至っていると思います。

→ご家族 Y 様

主人も几帳面な性格です。キッチリ片付けたりする主人が、それを出来なくなって私が混乱してしまっただけでもありました。体は丈夫なので異変に気づきにくいこともありますね。最初は、汚れた下着などの面倒を見てもらって、本当に申し訳ないと思っていましたが、スタッフの方が、「それが私たちの仕事」と言ってくれて、ものすごく心が軽くなりました。ご近所でも徘徊してしまっている方を娘さんが面倒を見ていますが、ここのスタッフさんはいい人たちばかりだよ。と話をしています。

→総括 Y 様

そのご近所さんは、ひとりで抱え込まないようにしてほしいですね。

▼さいごに センター長 渡部

利用者様は、こちらに来てすごく頑張って活動してくれていると思います。皆様の能力の高さに感嘆することもあります。一方で、それ以上にご家族の方も頑張っていることが分かりました。きっとそうに違いないと思っていましたが、こういう場で生の声を聞いて確信にかわりました。スタッフにもご家族の頑張りを伝えて、何気ないひと言が、すごく大事なこともある。ということ肝に銘じてこれからも頑張って行きます。

▼包括より 包括 Y 様

認知症サポーター講座、オレンジサロンなど各種イベントもあります。ご活用ください。

総括 渡部 次回の開催予定は 2020 年 2 月頃を予定しております。

